

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【公表番号】特表 2018-530290 (P2018-530290A)

【公表日】平成 30 年 10 月 11 日 (2018.10.11)

【年通号数】公開・登録公報 2018-039

【出願番号】特願 2018-512951 (P2018-512951)

【国際特許分類】

H 0 2 G 3/14 (2006.01)

E 0 5 B 65/00 (2006.01)

H 0 5 K 5/03 (2006.01)

H 0 5 K 5/06 (2006.01)

H 0 2 G 3/08 (2006.01)

【F I】

H 0 2 G 3/14

E 0 5 B 65/00 N

H 0 5 K 5/03 D

H 0 5 K 5/06 D

H 0 2 G 3/08

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 26 日 (2019.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ベースと、

前記ベースに取り付けるのに適合したカバーと、

前記ベースに前記カバーを取り外し可能に固定するのに適合したラッチ部材であって、前記ラッチ部材は、前記ベースに回動可能に取り付けられた第 1 の端部、及び、前記ラッチ部材から延びるラッチデントを有する第 2 の端部を有し、前記ラッチデントは、前記ラッチ部材により前記カバーが前記ベースに固定されるラッチ位置へと前記ラッチ部材が回動したとき、前記カバーに形成された留め金にしっかりと嵌合するよう構成されていることを特徴とするラッチ部材と、

を具備する分電用ハウジング。

【請求項 2】

前記ラッチ部材は、前記ベースの第 1 の側に回動可能に取り付けられた第 1 のラッチ部材であり、前記分電用ハウジングは、前記カバーを前記ベースに取り外し可能に固定するのに適合した第 2 のラッチ部材をさらに具備し、前記第 2 のラッチ部材は、前記ベースの第 1 の側とは反対側の第 2 の側に回動可能に取り付けられた第 1 の端部と前記ベースから延びるラッチデントを有する第 2 の端部を有し、前記ラッチデントは、前記第 2 のラッチ部材により前記カバーが前記ベースに固定されるラッチ位置へと、前記ラッチ部材が回動したとき、前記カバーに形成された留め金にしっかりと嵌合するよう構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の分電用ハウジング。

【請求項 3】

前記グリッブ及び前記カバーは、前記ラッチ部材がラッチ位置にあるとき、前記グリッ

ブと前記カバーとの間にリリースを画定するように構成されていることを特徴とする請求項 2 に記載の分電用ハウジング。

【請求項 4】

前記ラッチ部材は、前記ラッチ部材がラッチ位置にあるとき、前記カバーの上端に延びることを特徴とする請求項 1 に記載の分電用ハウジング。

【請求項 5】

前記カバー及び前記ベースは、第 1 の素材で形成され、前記ラッチ部材の少なくとも一部は、前記第 1 の素材とは異なる第 2 の素材で形成されることを特徴とする請求項 1 に記載の分電用ハウジング。

【請求項 6】

前記ラッチデントは、前記ラッチ部材がラッチ位置にあるとき、前記留め金とスナップ式で嵌合することを特徴とする請求項 1 に記載の分電用ハウジング。

【請求項 7】

前記カバーは、前記カバーが前記ベースに取り付けられるとき、前記カバーと前記ベースの間で所定の位置合わせがなされるように前記ベースに形成されたベース溝とはめ合わせるのに適合した、前記カバーから延びるカバー突起部を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の分電用ハウジング。

【請求項 8】

カバーと前記ベースとの間に入れられたシール部材をさらに具備することを特徴とする請求項 1 に記載の分電用ハウジング。

【請求項 9】

前記ラッチ部材にスライド可能に取り付けられたロック部材をさらに具備し、前記ロック部材は、前記ロック部材のロック部材伸長部が前記カバーのロック部材収納部と嵌合し、前記ラッチ部材がラッチ位置からラッチ解除位置に動くのを防止するロック位置と、前記ロック部材伸長部が前記カバー中のロック部材収納部と嵌合しないロック解除位置との間で動くことが可能であることを特徴とする請求項 1 に記載の分電用ハウジング。

【請求項 10】

前記ラッチ部材は、前記ラッチ部材から延びる保持突起部を含み、前記ロック部材は前記ロック部材に形成された、第 1 の位置保持収納部と第 2 の位置保持収納部とを含み、前記保持突起部は、前記ロック位置及び前記ロック解除位置に取り外し可能に固定するように、前記第 1 の位置保持収納部及び前記第 2 の位置保持収納部のうちの 1 つと嵌合ことを特徴とする請求項 9 に記載の分電用ハウジング。

【請求項 11】

ベースと、

前記ベースに取り付けるのに適合したカバーと、

前記ベースに前記カバーを取り外し可能に固定するのに適合したラッチ部材であって、前記ラッチ部材は、前記ベースに回動可能に取り付けられた第 1 の端部、及び、前記ラッチ部材から延びるラッチデントを有する第 2 の端部を有し、前記ラッチデントは、前記ラッチ部材により前記カバーが前記ベースに固定されるラッチ位置へと前記ラッチ部材が回動したとき、前記カバーに形成された留め金にしっかりと嵌合するように構成されていることを特徴とするラッチ部材と、

前記ラッチ部材にスライド可能に取り付けられたロック部材であって、前記ロック部材は、前記ロック部材のロック部材伸長部が前記カバー中のロック部材収納部と嵌合し、前記ラッチ部材が前記ラッチ位置からラッチ解除位置に動くのを防止するロック位置と、前記ロック部材伸長部が前記カバー中の前記ロック部材収納部と嵌合しないロック解除位置との間で動くことが可能であることを特徴とするロック部材と、

を具備する分電用ハウジング。

【請求項 12】

前記ラッチ部材は、前記ラッチ部材から延びる保持突起部を含み、前記ロック部材は前記ロック部材に形成された、第 1 の位置保持収納部と第 2 の位置保持収納部とを含み、前

記保持突起部は、前記ロック位置及び前記ロック解除位置に取り外し可能に固定するように、前記第１の位置保持収納部及び前記第２の位置保持収納部のうちの１つと嵌合ことを特徴とする請求項１１に記載の分電用ハウジング。

【請求項１３】

前記ラッチ部材は、前記ベースの第１の側に回動可能に取り付けられた第１のラッチ部材であり、前記分電用ハウジングは、前記カバーを前記ベースに取り外し可能に固定するのに適合した第２のラッチ部材をさらに具備し、前記第２のラッチ部材は、ベースの第１の側とは反対側の第２の側に回動可能に取り付けられた第１の端部と前記ベースから延びるラッチデントとを有し、前記ラッチデントは、前記第２のラッチ部材により前記カバーが前記ベースに固定されるラッチ位置へと、前記ラッチ部材が回動したとき、前記カバーに形成された留め金にしっかりと嵌合するように構成されていることを特徴とする請求項１１に記載の分電用ハウジング。

【請求項１４】

前記ラッチ部材は、前記ラッチデントを前記留め金からうまく取り外すことができるようにするために前記第２の端部の近傍にグリップを有することを特徴とする請求項１１に記載の分電用ハウジング。

【請求項１５】

前記グリップ及び前記カバーは、前記ラッチ部材がラッチ位置にあるとき、前記グリップと前記カバーとの間にリリースを画定するように構成されていることを特徴とする請求項１１に記載の分電用ハウジング。

【請求項１６】

前記ラッチ部材は、前記ラッチ部材がラッチ位置にあるとき、前記カバーの上端に延びることを特徴とする請求項１１に記載の分電用ハウジング。

【請求項１７】

前記カバー及び前記ベースは、第１の素材で形成され、前記ラッチ部材の少なくとも一部は、第１の素材とは異なる第２の素材で形成されることを特徴とする請求項１１に記載の分電用ハウジング。

【請求項１８】

前記ラッチデントは、前記ラッチ部材がラッチ位置にあるとき、前記留め金とスナップ式で嵌合することを特徴とする請求項１１に記載の分電用ハウジング。

【請求項１９】

前記カバーは、前記カバーが前記ベースに取り付けられるとき、前記カバーと前記ベースの間で所定の位置合わせがなされるように前記ベースに形成されたベース溝とはめ合わせるのに適合した、前記カバーから延びるカバー突起部を含むことを特徴とする請求項１１に記載の分電用ハウジング。

【請求項２０】

カバーと前記ベースとの間に入れられたシール部材をさらに具備することを特徴とする請求項１１に記載の分電用ハウジング。